



世界へのプレゼントになろう

Kawi

K. R. ラビンドラン  
2015-16年度国際ロータリー会長



No.22

Takasago Rotary Club

週報

高砂

### クラブ会長方針

“ロータリーをもっと知ろう”

- ① ロータリーは親睦から
- ② 友愛奉仕活動を見直そう
- ③ 地区を知ろう

例会記録 (2015. 12. 18 (金)) 通算3,061回

◆開会

◆唱歌 ロータリーソング「我等の生業」

◆「四つのテスト」唱和

### ◆プログラム予定

12月25日 (金)	1月1日 (金)	1月8日 (金)	1月15日 (金)
休会 (定款第6条第1節(C)による)	休会 (祝日のため)	新年初例会 「新年初謡曲」 謡曲同好会	卓話「新春放談」 市長 登 幸人様

## ◆出席報告

本日 12月18日 会員数41名 出席者28名 出席率 80.00%  
前々回 12月 4日 会員数41名 修正出席者36名 出席率100.00%修正

## ◆MAKE-UP

尾上 喜秀会員 職業奉仕西播地域セミナー 12月 4日  
濱崎日出夫会員 e-CLUB 12月11日  
後藤 宗久会員 e-CLUB 12月 4日  
後藤 宗久会員 e-CLUB 12月11日  
後藤 宗久会員 e-CLUB 12月18日  
大久保義郎会員 e-CLUB 12月11日  
籠谷 啓一会員 ロータリー財団セミナー 12月11日  
福島 弥一会員 e-CLUB 12月18日  
濱崎日出夫会員 e-CLUB 12月 4日  
桂田 重信会員 e-CLUB 12月18日

## ◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

竹内 正道会員……結婚祝を頂きありがとうございます。  
後藤 武男会員……卓話をさせて頂きありがとうございます。

## ◆幹事報告 (3,061回)

〈国際ロータリー日本事務局より〉

◎2015年11月末までのRIJO-FAQ配信履歴の格納のお知らせ、年末年始の例会休会規定のアップロードのお知らせ、次年度役員報告についてのご案内が届いております。

〈米山記念奨学会より〉

◎「ハイライトよねやま」189号が届いております。

〈例会変更のお知らせ〉

◎姫路南RC

1月 4日(月) → 新年例会 18:00～ 夜間例会

1月11日(月) → 休会

〈その他〉

◎ソウル国際大会 参加登録のお願いが届いております。

◎但陽信用金庫より、法人に係る利子割(地方税)廃止に関するお知らせが届いております。



豊田克義副幹事

## ◆会長の時間

本日は、2015年最後の例会です。皆さまご存じのように今月は疾病予防と治療月間です。それでは具体的にロータリークラブは何をしているのだろうかと思いますが、ロータリーは疾病の原因と影響を減らすための活動と研究を支援しているようです。その中でも、私たちが最も関係しているのはロータリー財団だと思います。ロータリー財団は疾病予防と健康を促進するために次のような事を支援しています。



佐野敏晴会長

1. 地元の医療従事者の能力向上
2. 伝染病の伝播を食い止め、非伝染病の発生とそれによる合併症を減らすための、疾病予防のプログラムの改善。
3. 地域社会の医療インフラの改善。
4. 主な疾病の蔓延を予防するための、地域社会の人々の教育と動員。
5. 疾病またはけがによって引き起こされる身体障害の予防。
6. 疾病予防と治療に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための奨学金支援。

これらの目的のための活動として、たとえば疾病の予防と管理のための具体的な支援としては、カウンセリングや治療のための専門医の紹介、予防に役立つ物資の提供、治療のための機器や車両の提供、予防プログラムの提供、診断や治療の追跡のための技術の提供、伝染病の治療、医療従事者への研修などに補助金を出しています。

10月に行われたロータリー財団セミナーに加古川平成ロータリークラブが支援しているグローバル補助金奨学生の大類隼人君の報告がありましたが、この補助金を使って世界規模で公衆衛生において素晴らしい活躍をされているなど感動すると同時に私たちのロータリー財団への寄付が役立っているのだと改めて感じました。

本日は、後藤会員の卓話です。今月のロータリー強調月間のテーマに合致していると思いますので、楽しみに聞かせていただきます。

## ◆本日のプログラム

卓話「人工透析の話」 後藤武雄会員（高砂市民病院）

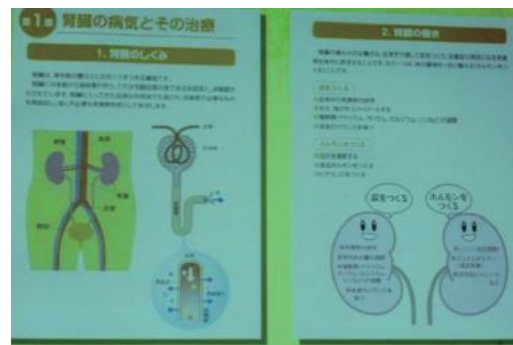
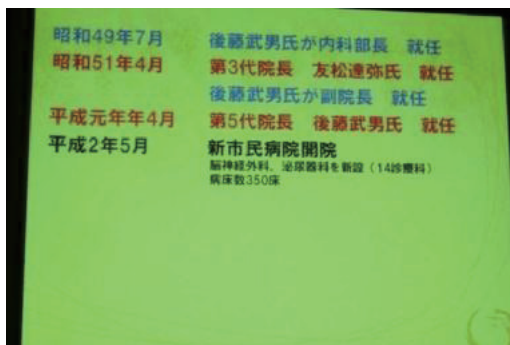
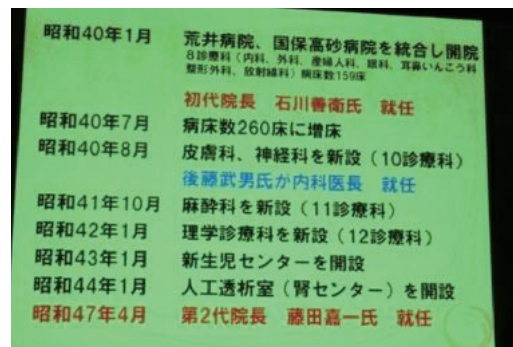


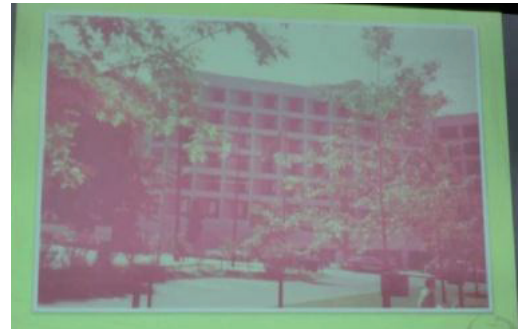
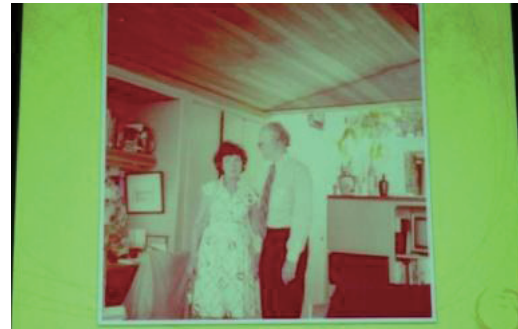
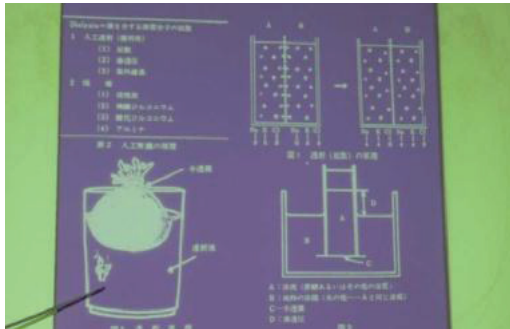
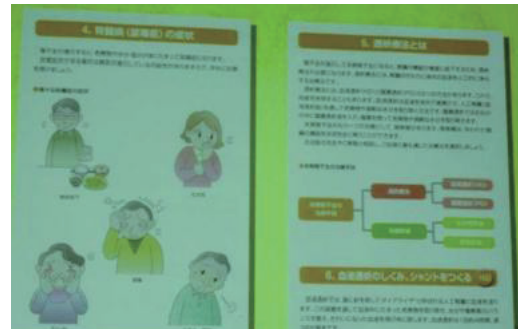
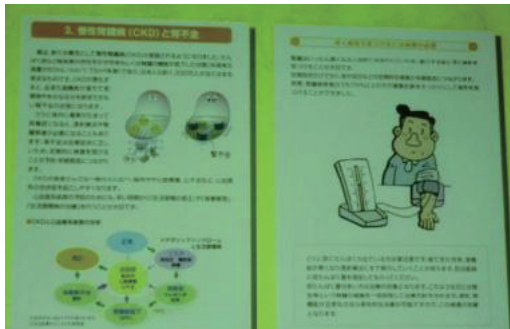
坂井智代プログラム委員長



後藤武雄会員

今日は慢性腎不全の治療法として、定着してまいりました血液透析のお話をさせていただきます。慢性腎障害の原因としては、慢性腎炎、糖尿病、腎硬化症等が原因となります。自覚症状としては、むくみ等が早くから現れる場合は、比較的早期に発見されますが、一般には殆ど自覚症状がありません。やっと末期になってから自覚症状が現れるのが殆どです。腎臓は体にとって大変な大事な役割、持つことが判ってまいりました。即ち、水分、塩分、その他体から出る老廃物を排泄、また必要なものを再吸収するという作用以外に血圧のコントロールや、貧血、骨を強くする等多くの作用が判ってまいりました。この腎障害の治療は、腎組織の障害の軽い場合は、良くなることもあります。此の60年間治療薬が、まだ見つかっていないのが現状です。末期腎障害の自覚症状としては、図示しますように、食欲低下、むかつき、高血圧、貧血を伴う全身倦怠等を訴えます。この原因として体中にたまった尿毒素によるものですが、当時の食事療法（低塩、低たんぱく食）は実に厳しいものでした。その治療法として、人工腎臓と腎移植が出現いたしました。本邦では昭和40年代の初め頃より人工腎臓による治療法が入ってまいりました。本院では、藤田教授が（当時副院長）が米国へ留学され、帰国後、全国に先駆けて神戸大学について、昭和44年に人工腎臓が設置されました。大変な福音であり、病院中が、パッと明るくなったような感じでした。市当局の英断も素晴らしいものでした。治療法の原理は、図示します様にセロファンのような半透膜を通して、きれいな溶液中に尿毒素を排出してゆく治療法です。この仕組みは、年と共に改善され、更に分子量の大きな尿毒素を吸着、排出する膜が使用される様になりました。当然患者さんの全身状態も非常に良くなってまいりました。実に日本の企業の開発の進歩の素晴らしさに驚く次第です。現在では40年以上の透析療法をうけ、日常生活に復帰されている患者さんも数多くおいでになるようになりました。この治療法については、今後更に少しずつ改善されてゆくものと期待されている次第です。





会長 佐野 敏晴                      幹事 後藤 純次                      雑誌会報委員長 堤 哲雄  
 例会日時 毎週金曜日12時30分より                      例会場 高砂商工会議所 2階会議室  
 高砂ロータリークラブのホームページのURL                      [http://www.winwin.ne.jp/~takasago\\_rc/](http://www.winwin.ne.jp/~takasago_rc/)